

施設を出て社会人になった先輩があなたたちに役立つようにとお話をしてくれました。先輩は自分のことも振り返りながら、いろんな話をしました。

不安と悲しみがありません

わたしは自宅で母と暮らしていましたが、母が入退院をくり返していたので、学校を休むことが多く学校の勉強も手につきませんでした。ある日、担任の先生と児童相談所の人が相談してわたしは施設に入ることになりました。

母や学校の友達と離れて、知らない場所で生活することになり、不安とつらい気持ちでいっぱいでした。あなたたちも同じような経験をしたことでしょうか。



守られた生活と仲間たちとの楽しい暮らしがありました

施設での生活をとても心配していましたが、施設では朝昼晩に暖かいご飯を食べることができ、学校にも毎日通うことができました。先生も優しく、とてもうれしかったことを覚えています。

これは、わたしが施設の先生に教えてもらったことですが、日本の国には子どもたちを守る^{じどうふくしほう}「児童福祉法」という法律があります。その中に、こんな内容が書かれていました。

- 1 すべて国民は児童（あなたたちのこと）が心身ともに健やかに生まれ、育成されるように努めなければならない。
- 2 すべて児童（あなたたちのこと）はひとしく生活を保障されなければならない
この約束事があるので、施設で暮らすあなたたちは明るく、衛生的な環境の中で、知識と経験を積んだ施設の先生に守られて、心身ともに健やかに、りっぱな社会人として成長するよう育てられています。

わたしやあなたたちは日本の将来^{しょうらい}を担う重要な役割を持っているので、とても大切に育てられているのだと思います。わたしも、施設で暮らしていた時は、先生と口げんかを何度もしたことがありました。でも、大事にされていたことはしっかり記憶しています。

社会生活は不安でしたが、今は社会人として順調に生活しています

友達の中には大学に進学する子もいましたが、わたしは高校卒業と同時に施設を出て会社に勤めました。早く一人前の社会人になりたいと思ったからです。

でも、守られた環境から一変して、自分で働いて、自分で責任を持って生活することの大変さに直面しました。予想はしていましたが、とても厳しいものでした。

会社に遅刻しないよう起床して、簡単な朝食をとります。通勤ラッシュはすごいです。電車に乗る時は駅員さんが私の背中を押して無理やり車内に入れます。

残業が少しあるので社員寮に帰ると夜の8時ころです。自炊をしていますが、疲れたときはコンビニで弁当とお酒を買います。食後に少しゆっくりし、友達とメール交換します。



あっという間に夜の12時です。急いでシャワーを浴びてベッドに入ります。

翌日もその翌日も同じことの繰り返しです。今年で3年目になりました。

そして、休日には、会社の同僚とドライブ。先月は同僚3人で一泊二日の北陸へ楽しい旅行をしました。温泉がとても気持ちよかったです。自慢ではありませんが、お金をためて中古の自動車を購入しました。車の免許は、施設にいるときに取っています。自動車学校に通うのは大変でしたが取っておいてよかったです。

私には大きな夢があります。

今の生活は充実していますが、わたしは本格的に機械工学を勉強するために大学に入学することも考えています。もちろん就職したことは後悔していません。働いているおかげで少額ですが毎月貯金ができています。

就職したからこそ夢が大きくなりました。わたしは工場で製作機械をコントロールする部署で働いています。仕事が面白くてしかたがありません。でも、残念なことに知識がありません。

先輩のように技術と知識を早く身に着きたいのです。

わたしは「社会にほんろうされる自分」と「将来に夢を持ち一生懸命な自分」にはさまれドキドキ、ワクワクの生活を送っています。

施設を巣立つあなたに 先輩として一言

わたし自身を振り返ってのことです。あなたたちの参考になるかな。

社会に出て、初めて病院で受診した時のことです。施設にいるときはお金が要らなかったのですが、精算するとき会計窓口の人から「自己負担額の支払い」を求められて「どうしてお金が必要ですか」と質問しました。

医療保険や自己負担の仕組みなんて知らなかったので説明を受けやっとなったのですが、とても恥ずかしかったことを覚えています。



就職先でも同僚との挨拶や、先輩に仕事の相談をすることが苦手で上司から指導を受けたことがありました。施設では私のことを、皆がなんとなく理解してくれましたが、職場や社会では自分のことを理解してもらうための努力がとても大切だと痛いほど感じました。

あなたたちは施設を巣立つまでにまだ時間がありますから、社会の約束事や人との付き合い方をしっかり勉強してください。

そして、社会に出た後も、わからないことは周りの人に聞いて覚えてください。

恥ずかしいことなんてないですよ。たくさんの約束事が身につけば得だし、とても生活しやすくなります。これはわたしの反省から、いつも実践していることです。

たとえば、会社内の仕事に関することは「社内メール」で連絡することが多いのですが、上司や先輩と直接会う時は、自分から声をかけ、わからないことや、疑問に思っていることを質問します。教えてもらった後に「ありがとうございました」とあいさつします。これだけのことで、とても気分がいいし、得した気持ちになります。

いろいろ言いましたが、わたしはいろんな人に出会えてとても楽しい日々を送っています。充実しています。そして、あなたたちに出会えることを楽しみに待っています。

はじめに 00-03	先生から「自立しなさい」「施設を出たら一人ががんばって生活しなさい」と励まされています。 なんとなくわかりますが、自立ってどんなことですか
「自立」 言葉の意味 それでは よくわから ないなあ～	<p>一般的な言葉の意味</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 他人の助けを借りないで自分の力だけで行うこと。 2 他人に支配<small>しはい</small>されないで独り立ち<small>ひと</small>することです。 <p>先生はあなたを心配して、励<small>はげ</small>ましたのですね。 でも、一人ではできないことが多くあります。全部自分でやるのはしんどいでしょね。 働くこと、食事を作ること、洗濯や掃除などの身の回りのこと、役所での手続き、人のお付き合い。 「自立」もそうだけど、正直、社会に出る不安が大きいですよ。</p>
できること できないこと	<p>あなたは成長途中なので、自分が未成熟なことはわかるよね。 そして、あなたの「できること」と「できないこと」の区別もつくよね。 「できること」は自分でしっかりやり抜きましょう。そして 「できないこと」の解決は大人に協力を求めたらどうでしょうか。 ただし、ずっと任せるのはダメですよ。 時期がきたらあなたが自分で行う準備はしておきましょう。 それが、今あなたにできる「自立」だと思います。</p>
自立のため に必要な力	<p>発信力 あなたが暮らしの中で「解決できないことがあって困っている。手を貸してほしい知恵を貸してほしい」と周りの人に伝えて、協力を求める力です。 発信しないと、あなたが困っていることがわかりません。 発信するためには、あなたが自分のことを大事に思える気持ちと、暮らしをよくしたいと思う心が必要ですね。</p> <p>受信力 困っているあなたに対して大人が協力を申し出たら、それを気持ちよく受け入れる力です。だって、そのことであなたは暮らしの目標が達成できるのですよ。 周りの大人はあなたのことを、とても大事な存在だと感じて協力を申し出ているのです。ぜひ、受け入れてください。</p>
	<p>「一人で頑張ろう 独り立ちしよう」と強く思わないで 時には大人のを借りてみましょう。</p> <p>そうすると 生活の不安が減り 生活することが楽しくなるし 人のことが好きになりますよ</p> 